

AEQUIDUR

(アエクイーダー)

取扱説明書



AEQUIDUR

概要

材料研磨のための試料の埋込補助剤です。

本書は、製品のその特性と処理要件に関する内容を説明しています。

安全についての案内

本文に記載されている要件に従ってください。

商品の使用目的

AEQUIDUR は白色の非常に細かい粒状の粉末で、

材料研磨用の硬化樹脂の硬さを調整するために使用されます。

硬化樹脂に AEQUIDUR を混合すると硬化後の硬度が上がります。

AEQUIDUR は 3 つの異なるタイプからお選びいただけます。

- タイプ S - 軟質試料用
- タイプ M - 中質試料用
- タイプ H - 硬質試料用

AEQUIDUR を使用することにより、試料の材質（アルミニウム等の軟質試料からカーバイド金属等の硬質試料まで）に合わせて、樹脂の硬度を調節することができます。

商品の特性

AEQUIDUR を使用すると特に表面の硬質と境目（エッジ）の明瞭性が高まります。

硬化樹脂と試料との間の密着性を高め、樹脂との割れ目や裂け目を回避しやすくなります。

そのため、得られる試料は研削および研磨に適しております。

AEQUIDUR の混合は硬化樹脂の硬化時間に影響せず、常温硬化樹脂で使用できます。

さらに取り扱いは簡単で、弊社の硬化樹脂 3 種類（SCANDIPLAST, SCANDIQUICK, SCANDIPLEX）と併用することで、配合が調整し易くなりおすすめです。

使用手順

- ① 硬化樹脂（樹脂+硬化剤）を混合します。
その際、ご使用になられる硬化樹脂の取扱説明書をよくお読みください。
- ② 硬化樹脂に AEQUIDUR を適量加えます。
（使用例）約 1/4 程の硬化樹脂を別の容器（目盛り付きカップなど）に取り分け、
硬化樹脂の表面が AEQUIDUR に覆われるくらい（白くなる）まで加えます。
- ③ AEQUIDUR が硬化樹脂に均一に混ざるまで、ガラス棒で AEQUIDUR と硬化樹脂を攪拌します。
埋め込みには弊社のシリコンカップ（SCANDIFORM）が最適です。
また試料とカップ内壁に 2 mm 以上の隙間ができる様、シリコンカップの大きさをお選びください。
- ④ AEQUIDUR が混合された硬化樹脂をシリコンカップに 2～3mm 注いでください。
プライヤーを使用し、清潔で脱脂した試料をシリコンカップに挿入、カップの底面に押し付けます。
試料の下に気泡が挟まれないよう注意してください。
- ⑤ 残りの硬化樹脂をシリコンカップの上縁から 1mm 下のところまで入れていき、硬化するのを待ちます。
- ⑥ 硬化樹脂が完全に硬化したら、シリコンカップから取り出します。

備考

AEQUIDUR は乾燥した涼しい場所に保管してください。

適切に保管されている場合（20℃ および十分に密閉された容器など）の保存期間は
無期限に保存可能です。

器具（カップ、ガラス棒など）の清掃に関する注意事項

使用直後にすべての器具をペーパータオルで拭き取ってください。

一度硬化してしまうと除去することはできません。

上記の手順に従ったにもかかわらず、ご希望の結果が得られないときは下記弊社までご連絡ください。

フリツチュ・ジャパン株式会社 有限会社フリツチュラボシステム

U R L : <http://www.fritsch.co.jp> E-mail: info@fritsch.co.jp

本 社 〒231-0023 横浜市中区山下町 252 TEL. 045-641-8550 FAX. 045-641-8364

大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-12-5 TEL. 06-6390-0520 FAX. 06-6390-0521